

5. 平成29年度新庄病院運営の基本方針

県立新庄病院が所在する最上地域は、人口の減少、絶対的な医師不足など、医療を取り巻く環境が県下で最も厳しく、また一般診療所が減少しつつあり、分娩取扱い医療施設が当院のほかにはない等の事情から、夜間・休日も含め最上管内の患者が当院に集中している状況にあります。

このような中、当院は、「仁・愛・和」を基本理念とする病院憲章の下、最上二次保健医療圏唯一の基幹病院として、医療が高度化、多様化する中で、老朽化した施設・設備の修繕や保守点検等により病院機能を維持しながら、地域の医療需要に応える努力を積み重ねてまいりました。

平成29年度は、「山形県病院事業中期経営計画」の3年目として、地域住民に安心と信頼の医療を提供するため、4つの柱の重点項目を中心に施策を展開するとともに、病院の移転新築に向けた計画づくりを進めます。

○ 使命（ミッション）

最上地域唯一の基幹病院として地域住民に安全、安心、信頼の医療を提供します。

○ 目指す姿（ビジョン）

将来にわたり持続可能な病院運営を目指すとともに、病院機能の強化を図るため、移転新築を推進します。

○ 取組みの柱と重点的取組み

1 質の高い医療の提供

(1) 安全、安心、信頼の医療の提供

病院機能評価（3rdG：Ver 1.1）の認定更新、チーム医療の推進、総合医療情報システムを活用した医療安全対策の推進、クオリティインディケーター（医療の質の指標）の随時更新、5S運動の推進

(2) 病院改築整備基本計画への反映

院内検討会等における意見等の取りまとめ及び基本計画案への反映

(3) 医療機器の整備

CT装置の更新、生化学・免疫分析装置の更新

2 人材の確保と育成

(1) 医師、看護師等医療スタッフ確保対策の推進

（医師）大学医局等との連携強化、研修医の確保・育成、広域連携臨床実習の受入れ、総合診療医育成に向けた専門研修医の募集、SNS等を活用した情報発信

（看護師等）地元出身学生の実務実習受入れ

(2) 職員の資質及びモチベーションの向上

院内研修会の充実強化、専門資格取得・維持の推進

(3) 米沢栄養大学や保健医療大学等との連携の推進

新たな病院食の献立充実、実務実習及びインターンシップの受入れ

3 医療連携・機能分担の推進

(1) 三次医療機関との連携強化

医療情報ネットワークの活用推進

(2) 医療・介護・福祉の関係機関・施設等との連携

地域医療部情報紙「んだじゅ通信」の発行、もがみネット等の活用拡大による退院支援の充実・推進

(3) 地域に開かれた病院づくり

ホームページ・広報誌での情報発信、新庄病院健康まつりの開催

4 経営の改善（新庄病院V字回復プロジェクトの推進）

(1) 職員総参加の仕組みづくり

BSCによるPDCAサイクルの徹底、職員の経営意識改革のための研修会の実施

(2) 安定した収益の確保

紹介率、逆紹介率向上のための情報発信の充実、地域包括ケア病棟の活用、診療情報管理士によるレセプトチェックの強化・DPCコーディングの適正化

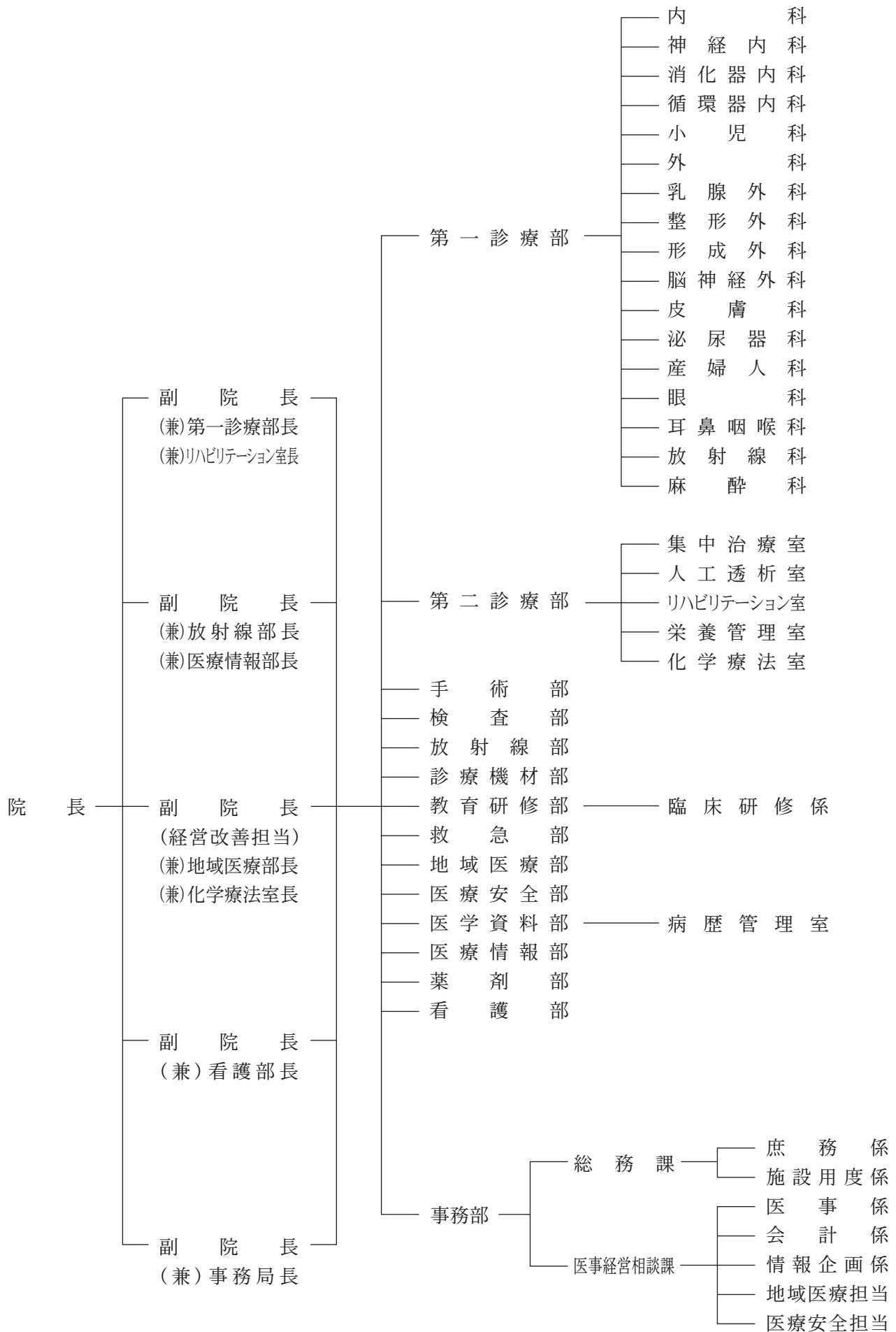
(3) 医業費用の効率化

業務の見直しや平準化による効率化、経営コンサルタントの活用、医薬品・診療材料の価格交渉等の強化、後発医薬品の使用拡大、光熱費等の節減

(4) 個人医業未収金対策の強化

各種給付・支払制度の早期周知による未収金発生防止、退院時請求率の向上

6. 組 織 機 構



7. 職 員 現 員 表

平成29.5.1現在

所 属 ・ 職 名			技 術	事 務	技 労
医 師			4 6		
研 修 医			1		
第 二 診 療 部	リハビリテーション室	理 学 療 法 士	1 0		
		作 業 療 法 士	5		
		言 語 聴 覚 士	3		
		小 計	1 8		
	栄 養 管 理 室	管 理 栄 養 士	5		
		調 理 技 能 員			1 7
		小 計	5		1 7
	計		2 3		1 7
診 療 機 材 部		臨 床 工 学 技 士	4		
薬 剤 部		薬 剤 師	1 4		
検 査 部		臨 床 検 査 技 師	2 1		
放 射 線 部		診 療 放 射 線 技 師	1 3		
看 護 部	看 護 師		2 8 9		
	視 能 訓 練 士		1		
	計		2 9 0		
事 務 部	総 務 課 事務局長、事務局次 長を含む	事 務 職 員		1 4	
		行 政 技 能 員			1
		技 術 技 能 員			2
		施 設 技 能 員			4
		小 計		1 4	7
	医 事 経 営 相 談 課	事 務 職 員		1 0	
		診 療 情 報 管 理 士		4	
		看 護 師	3		
		社 会 福 祉 士		1	
		小 計	3	1 5	
計			3	2 9	7
合 計			4 1 5	2 9	2 4
総 計			4 6 8		

8. 診療科別医師数

平成29.5.1現在

診療科	常勤	非常勤	計	備考
内科	12	10	22	
神経内科	—	2	2	
消化器内科	兼(4)	—	兼(4)	内科(兼)
循環器内科	兼(4)	—	兼(4)	内科(兼)
小児科	3	9	12	
外科	7	—	7	
乳腺外科	兼(7)	—	兼(7)	外科(兼)
整形外科	4	5	9	
形成外科	2	2	4	
脳神経外科	2	—	2	
皮膚科	1	3	4	
泌尿器科	2	2	4	
産婦人科	4	7	11	
眼科	2	1	3	
耳鼻咽喉科	3	3	6	
放射線科	3	—	3	
麻酔科	1	5	6	
人工透析室	兼(4)	3	3	内科(兼) 循環器内科(兼)
リハビリテーション室	兼(1)	—	—	脳神経外科(兼)
病理科	—	2	2	
研修医	1	—	1	2年次
計	47	54	101	

9. 臨床研修医の受入れ状況

(単位：人)

研修区分	28年度	29年度
初年次	0	0
2年次	2	1
計	2	1

10. 病棟別病床数及び看護体制

平成29.5.1現在

区 分	診 療 科		病 床 数			看護職員数	夜 勤 体 制	
	診 療 科 名	科別床数	部 屋 別			看護師・ 准看護師	準 夜 勤	深 夜 勤
1 病 棟	小児科 内科（消化器）	1 2	1 床室	8	8	2 5	3	3
		3 4	4 床室	2	8			
			6 床室	5	3 0			
		計 4 6	(計)	1 5	4 6			
2 病 棟	産婦人科 内科（消化器：女性）	3 0	1 床室	7	7	2 5	3	3
		1 3	4 床室	6	2 4			
			6 床室	2	1 2			
		計 4 3	(計)	1 5	4 3			
3 病 棟	整形外科	4 0	1 床室	6	6	2 1	3	2
			2 床室	1	2			
			4 床室	8	3 2			
		計 4 0	(計)	1 5	4 0			
5 病 棟	外科 泌尿器科 緩和ケア 内科（消化器）	2 6	1 床室	6	6	2 5	3	3
		9	2 床室	1	2			
		4	4 床室	4	1 6			
		1 6	5 床室	1	5			
			6 床室	5	3 0			
		計 5 5	(計)	1 7	5 9			
6 病 棟	内科 整形外科 その他の診療科	1 8	1 床室	5	5	1 7	2	2
		1 8	2 床室	1	2			
		4	3 床室	3	9			
			4 床室	6	2 4			
		計 4 0	(計)	1 5	4 0			
7 病 棟	休 棟	0	1 床室	4	4			
			2 床室	1	2			
			4 床室	6	2 4			
			5 床室	1	5			
			6 床室	3	1 8			
		計 0	(計)	1 5	5 3			
8 病 棟	内科（呼吸器） 耳鼻咽喉科 形成外科 人間ドック	3 0	1 床室	2	2	2 5	3	3
		1 8	2 床室	4	8			
		4	4 床室	1	4			
		2	6 床室	7	4 2			
			ドック室	2	2			
		計 5 4	(計)	1 6	5 8			
10 病 棟	脳神経外科 内科（呼吸器） 眼科 感染症室	3 8	1 床室	6	6	2 5	3	3
		9	2 床室	4	8			
		3	4 床室	1	4			
		2	6 床室	6	3 6			
		計 5 2	(計)	1 7	5 4			
11 病 棟	内科（循環器・腎臓） クリーンルーム	5 2	1 床室	4	4	2 5	3	3
		2	2 床室	3	6			
			4 床室	1	4			
			6 床室	7	4 2			
		計 5 4	(計)	1 5	5 6			
集中治療室		4			5	1 7	2	2
人工透析室						1 3		
手 術 室						1 8		
外 来						4 8 (視能訓練士含)		
看護部長室						6 (事故要員3含)		
計		病床数	室 数		許可病床数	2 9 0	2 5	2 4
		3 8 8	1 4 0		4 5 4			